

## 働く私たちも、お客様も、快適に過ごせる「榎谷農園」へ

- 屋号・法人名等 榎谷農園
- 氏名 榎谷 馨子
- 所在地 萩市
- 生産品目 イチゴ、オクラ、リーフレタス等  
※年間 100 種類以上の野菜を生産
- 就農年 令和2年



### ○経営改善のきっかけ

介護の仕事をしながら、休みの日に農業を手伝っていたが、令和2年2月に介護の仕事を正社員からパート勤務へ変更し、農業を中心に働くようになった。令和4年、新規事業の開始に伴い介護職を退職し、農業に専念している。

榎谷農園は、家族経営であり、夫と義父母、パート約6名でイチゴを中心とした野菜、果物等の生産をしている。令和4年に新たに野菜の小売業を開始し、配達等で負担が大きくなった夫の補助から、いずれは生産部門の主担当として農業に従事していきたいという思いを持っている。

「R3年度女性が働きやすい農林漁業経営体づくりセミナー」の受講をきっかけに、いちご狩りの対応等、家族経営において自身が担当している業務内容を中心に、日々の気づきから出てくる課題を整理し、実践できることから改善に取り組んだ。

### ○経営改善の取組内容

#### 1 仕事の効率化・隙間時間の有効活用

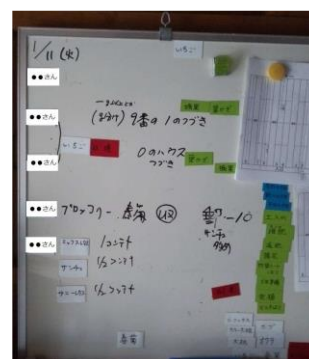
栽培計画に沿って、その日の作業内容は明確化されているが、夫や私が配達等で不在の時間に、早く作業が終わった際に隙間時間が生じる。

##### (1)「ToDo リスト」の活用

- ・個々の作業情報やどこで何の作業をしているかを把握する。  
※デジタル化を計画したが中止。義父母でも対応できるように、ホワイトボードを活用している。

##### (2)「ToWeek リスト」の活用

- ・「一週間以内にやっておきたいこと」を書き出して共有し、隙間時間ができたときに、すぐに実施できるようにする。
- ・隙間時間でやってほしいこと(出荷前の準備:箱折りやシール貼り等)を書き出して共有し、隙間時間に作業できるようにする。
- ・ハウス内の作業も別紙に書き出し、明確化する。



榎谷農園のToDoリスト

#### 2 「いちご狩り」向け農園場所の案内方法の改善

令和2年3月から観光農園(いちご狩り)を開始した。現在、受付は「じゃらんネット」のみで対応しており、電話やFAX等での受付は行っていない。料金の支払いもじゃらんネット内で行うため、当日、農園内での金銭のやり取りはない。

農園は市街地にあるものの、場所がわかりにくく、カーナビに住所を入力しても正しく案内されないこともある。また、予約時間に遅れてくるお客さんもおり、その対応に苦慮している。

## <セミナーで検討した改善内容と実践内容>

### (1)看板の設置

- ・農場や駐車場に農園の看板を設置する。
- ・農園の入口となる道路沿いの空き家に依頼して、いちご狩りののぼりを設置する。  
→市の条例等もあり、いちご狩り実施の時間のみ農場へののぼりと仮設の看板を設置。

### (2)「じゃらんネット」上に必要な情報を掲載

- ・農園の入口の写真(大通りから農園に入る場所等)を掲載する。

【榎谷農園の入口】



- ・車で(カーナビを使用して)来られる方への注意喚起の文を掲載する。
- ・時間に遅れて来られた際の対応(次のお客様がおられるため、終了時間は変更できない等)を掲載する。 ※いちご狩り開始前の説明時にも再度説明し、了承いただく。

→Google マップのストリートビューを活用

上記写真を掲載予定だったが、ストリートビューの話があり、写真の掲載はやめ、農園入り口から農園までの道を Google マップのストリートビューを使って確認できるようにした。農園のいちごハウスの中までストリートビューで確認できるようになった。

## ○経営改善の取組効果

### (1)仕事の効率化・隙間時間の有効活用

「ToDo リスト」「ToWeek リスト」の活用により、家族やパート従業員とのコミュニケーション面も良くなり、仕事の効率化を図ることができた。スマートフォン等を活用したリストの共有も考えたが、現段階ではホワイトボードや紙に書き出す方法を選択し、義父母も使いやすい方法としたことで、家族全員でリストが共有でき、義父母に対応してもらうことも可能となった。

「隙間時間にやってほしいこと」「ToWeek リスト」により優先順位を共有化し、改めて確認しなくても、家族誰もがパート従業員に指示できるようになり、時間の有効活用につながっている。

### (2)「いちご狩り」向け農園場所の案内方法の改善

農園までの経路と場所を Google マップで確認できるようにしたことで、道に迷うお客様が減少するとともに、時間に遅れるお客様も減少した。また、説明したい内容を事前にじゃらんネットで確認してから来園するお客様が増え、いちご狩り実施前の説明時間の短縮もでき、業務の効率化にもつながった。

## ○今後の経営改善への取組意向

当初は、介護施設に勤めながら夫を手伝う(サポートする)という軽い気持ちで農業に従事していたが、徐々に自分が担っていくことが増え、受け身でいた自分から提案をしながら一緒にやっていくことへと一歩進めたように感じた。

今後は、夫の生産部門での作業負担を減らし、私ができることを増やしていきたい。また、働くパート従業員やいちご狩り等のお客様に向け、手洗い場やトイレを設置し、働きやすく利用しやすい環境を整えていきたいと考えている。夫、義父母としっかり話し、改善が必要な点を見つけ、優先順位づけて対応、実践し、経営改善に取り組んでいきたいと思う。